

うるま市に聖火がやってくる！

5.2土 東京2020オリンピック Hope Lights Our Way 聖火リレー

希望の道を、つなごう。

ギリシャの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でつなげる聖火リレーは3月に福島県からスタートし、日本全国47都道府県を巡ります。沖縄県では5月2日と3日の2日間、開催され、うるま市では5月2日に与那城陸上競技場から海中道路ロードパークまでの約2.5kmを聖火ランナーが駆け抜けます。

聖火リレー（うるま市実施）

- 日 時：5月2日（土）
午後4時10分～4時43分
※2月時点での予定です。変更になる場合もありますので、沖縄県ホームページをご確認ください。
- スタート：うるま与那城陸上競技場
- ゴール：海中道路ロードパーク

聖火リレールート（走行距離2.5km）



※この区域でのドローン飛行は禁止となります。

聖火リレーに関する詳しい情報は、
『県公式ホームページ』
をご覧ください。



労に繋げるため、資格取得に係る経費を助成する「若者就業支援プログラム事業」を引き続き実施してまいります。10代の若年妊産婦に対しては、妊娠・出産・育児に関する相談・指導を行うとともに、自立に向けた支援に繋げるため、新たに若年妊産婦の居場所づくりに取り組めます。

「島しょ地域振興」については、引き続き、移住・定住促進事業を実施するとともに、移住者の支援や地域の連携強化を図るため、中間支援組織の設立に取り組んでまいります。

また、平成30年度に整備した、超高速ブロードバンドを活用して、新たな働き方による企業誘致や移住者の増加を図るため、「旧浜中学校跡地活用事業」を推進してまいります。

宮城島のコミュニティ活動や避難拠点施設として整備を進めてまいりました「宮城島コミュニティ防災センター」につきましても、令和2年秋ごろの供用開始に向け、取り組んでまいります。

さらに、津堅島の活性化を図るため、「津堅島農業活性化事業」、津堅島アリモドキソムシの根絶及び農地の集積流動化等に向け、引き続き取り組み、新たに荒廃農地を再生整備し、担い手への農地集積を促進する「農地耕作条件改善事業」にも取り組んでまいります。

以上、令和2年度の市政運営にあたり、私の所信と予算及び主要事業の概

要を述べてまいりました。既に新聞報道等でご承知かと思いますが、去る1月8日に市内で豚熱の発生が確認されました。戦後の畜産業復興の地であるうるま市で発生したことは大きなショックであり、市議会並びに市民の皆様には、「心配」と迷惑をおかけしております。

本市は、1月8日に現地対策本部を設置し、豚熱の蔓延防止に向け沖縄県の取り組みに対し、職員を動員するなど、全面的に協力するとともに、豚の所有者に対する消石灰の無料配布等の発生予防の取り組みを含め、必要な情報提供や相談対応等の支援措置を講じているところであります。これまでの取り組みにご協力いただきました関係各位に対し、心から感謝を申し上げます。

引き続き、関連情報の収集に努め、終息に向け万全を期してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症に関しましては、国・県の動向を注視するとともに、市民の皆様に対し、ホームページやSNS等を活用して、迅速な情報の周知を行うとともに、感染症予防の啓発に努めてまいります。

うるま市 赤十字奉仕団員として活動してみませんか？



あなたも地域の人々のつながりを大事に、今出来る事を一緒にやってみませんか？

赤十字奉仕団とは「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」という思いを持った人々が集まり結成された地域のボランティアの組織です。うるま市赤十字奉仕団では、身近な奉仕を地域にひろげ、すべての人々のしあわせを願い活動しております。年齢や性別は問わず、地域でのボランティア活動にご興味ある方は、福祉総務課までお問い合わせください。

うるま市赤十字奉仕団の主な活動内容

- 赤十字会員増強運動にかかる赤十字活動資金募集活動(5月)
- 市内献血会場における献血推進活動
- 災害義援金募集活動(随時)
- NHK海外たすけあい街頭募金活動(12月)
- 地域ボランティア活動
(市イベント、介護施設訪問、美化活動等)



【問合せ先】福祉総務課 ☎989-0203

5 結び

さて、うるま市は平成17年の合併から15周年を迎え、新たなスタートを切る節目の年となっております。また、子年は新しい運気のサイクルが始まり、未来への大いなる可能性を感じさせる年となっております。

令和2年度は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、全国的な盛り上がりを見せると思われます。本市は聖火リレーの対象地域となっておりますので、市民一丸となって盛り上げていきたいと考えております。

これからも「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」をスローガンに、市民が夢と希望に満ちたまちの実現に向け、これまでの取り組みを加速させるとともに、スピード感を持って地域課題の解決に全力で取り組む所存でございます。

市議会並びに市民の皆さまには、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。

うるま市長 島袋俊夫

令和2年2月26日

